

簿記

教科	商業	単位数	5	学科・学年	総合ビジネス科 1年生 進学クラス
使用教科書	「新簿記」(実教出版)			副教材等	「最新段階式 簿記検定問題集」 (実教出版) 他

◇ 学習の到達目標 ◇

企業における取引の記録・計算・整理に関する知識と技術を習得し、簿記の基本的な仕組みについて理解するとともに、ビジネスの諸活動を計数的に把握する能力と態度を身に付けます。

◇ 科目の特色 ◇

- ①「簿記」とは企業の経営活動を記録・計算・整理する技術のことです。「簿記」を学ぶことにより、企業の財政状態、経営成績を明らかにすることができます。
- ②全商簿記検定試験2・3級に向けての取り組みをします。

◇ 学習の計画 ◇

月	単 元 名	主 な 学 習 活 動
4 6	1. 簿記の基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・ 簿記の意味を理解する。 ・ 簿記の五つの要素の増減と純損益の計算をする。 ・ 純損益の発生原因と純損益の計算をする。 ・ 取引と勘定の意味を理解し仕訳する。 【前期中間考査】
7 9	2. 取引の記帳 (その1) 3. 決算 (その1)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 勘定記入の方法と取引の分解と勘定記入を理解する。 ・ 試算表と精算表の意味を理解し作成する。 ・ いろいろな取引を仕訳しそれぞれの帳簿へ記帳する。 ・ 決算の意味・手続きを学び報告書を作成する。 ・ 8桁精算表を理解し作成する。 【前期期末考査】
10 12	4. 帳簿と伝票 5. 決算 (その2) 6. 取引の記帳 (その2) 7. 仕訳帳の分割 8. 本支店会計	<ul style="list-style-type: none"> ・ 帳簿決算の意味を理解し財務諸表を作成する。 ・ 3伝票の意味と種類を理解し伝票への起票・集計をする。 ・ 費用・収益の繰り延べと見越し、貸倒見積、有価証券の評価、減価償却を理解する。 ・ 特殊な取引の意味を理解し仕訳をする。 ・ 特殊仕訳帳を理解し記帳する。 【後期中間考査】 ・ 本支店会計の独立本支店間の取引を理解し記帳する。
1 3	9. 総合演習 ・ 発展学習	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総合問題を行い、理解度を確認する。 ・ 会計の内容を理解する。 【後期期末考査】

◇ 評価の観点・方法 ◇

評価は、次の四つの観点から行います。

関心・意欲・態度	簿記の基本的な仕組みについて関心を持ち、記帳技術を習得するため、課題プリントや問題集等に意欲的に取り組むことができるか。
思考・判断・表現	簿記の基本的知識と記帳能力を養い、自らが簿記会計への関心を深め、進んでその能力や知識を高めることができるか。
技能	伝票の起票や主要簿、補助簿などに適正に記入することができるか。財務諸表の作成に当たり、原則に従って行うことができるか。
知識・理解	帳簿や財務諸表を通して、財務分析、企業分析が的確にできるか。

このため、具体的には次のものを対象にします。

- ①授業中における学習態度
- ②問題集やノートなどの提出物
- ③定期考査
- ④検定試験
- ⑤休暇中の課題と課題テスト

また1年間の評定は、前期・後期の年間を通して、上記の内容を総合的に判断して決定します。

◇ 担当者からのメッセージ ◇

全商簿記検定試験2・3級取得に向けて取り組みます、2年次で学習する「会計」につながるように基礎・基本をしっかり学習しましょう。

